

セキュリティ脅威を招く落とし穴(第3回)

セキュリティ対策の3大潮流

2017.11.15

ビジネス活動を阻害する情報セキュリティの脅威が増している。企業の重要データを人質にして金銭を要求する身代金要求型ウイルスであるランサムウェアなど、次々に企業を悩ます手口が登場している。経営者はサイバー攻撃のリスクからビジネスをいかに守るか。企業が講ずるべきセキュリティ対策として注目されている潮流が3つある。

いくつもの防御を重ねる多層的な対策を

潮流の1つが「多層防御」だ。字のごとく何段階もの複数のセキュリティ対策を組み合わせで防御する。マンションで例えてみよう。まず、エントランスに認証キー、各住戸の玄関ドアに鍵をかける。1つの鍵では不安な場合、複数の鍵を取り付ける。企業のセキュリティ対策も同じように何段階も対策を施すのだ。

具体的な対策を見ていこう。インターネットと社内ネットワークの出入り口となるゲートウェイで外部からの攻撃を防止する手段として、ファイアウォールを設置するのは当たり前となっている。しかし、これだけではウイルス感染を防ぐのは難しい。

メール経由のウイルス感染を防ぐには、不審な送信元のメールを検知・隔離する迷惑メール対策が必要だ。また、危険なWebサイトに誘導されてウイルスに感染するケースもある。こうしたWeb経由の感染を防ぐには、アンチウイルスソフトや業務に関係ないサイトへのアクセスを制限するURLフィルタリングの対策も欠かせない。

さらに、データを保管するサーバーへのアクセス制御や、ランサムウェアの被害に備えてデータをバックアップする。つまり、1つの対策が破られたとしても次がまだあるという想定が多層的な対策により、自社のセキュリティを高める。

```
(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start':new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],j=d.createElement(s),dl=!!'dataLayer'?'&l='+';j.async=true;j.src='https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefore(j,f)})(window,document,'script','dataLayer','GTM-K9XWQF5');!function(f,b,e,v,n,t,s){if(f.fbq)return;n=f.fbq=function(){n.callMethod?n.callMethod.apply(n,arguments):n.queue.push(arguments)};if(!f._fbq)f._fbq=n;n.push=n;n.loaded=!0;n.version='2.0';n.queue=[];t=b.createElement(e);t.async=!0;t.src=v;s=b.getElementsByTagName(e)[0];s.parentNode.insertBefore(t,s)}(window,document,'script','https://connect.facebook.net/en_US/fbevents.js');fbq('init','996021997138363');fbq('track','PageView'); // window.dataLayer=window.dataLayer||[];function gtag(){dataLayer.push(arguments);}gtag('js',new Date());gtag('config','AW-686888305');
```

バランスの取れたセキュリティ対策を… 続きを読む